

第2回委員会の検討の論点とスケジュールについて

■検討経緯

平成17年度に国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区基本計画が取りまとめられ、整備のテーマ、整備の基本方針、導入機能、ゾーニング等が示された。その後、当該地区を取り巻く動向の変化等を踏まえながら、基本設計や地域の活動団体と連携した参加型の開園前イベントを行ってきた。

○平成17年度キトラ古墳周辺地区基本計画

○平成19年度キトラ古墳周辺地区基本設計

○平成19年度～ 地域と連携した開園前イベントプログラムの試行

○平成20年度～ 基盤整備に係る実施設計等

体験的歴史学習のあり方に関する基本的方向性の検討

■文化庁における検討

文化庁「第2回古墳壁画の保存活用に関する検討会」において、『キトラ古墳壁画の保存管理施設について（素案）』が了解された。

『キトラ古墳壁画の保存管理施設について（素案）』（※原文から抜粋）

1. 保存管理の場所

- 古墳の諸要素である墳丘・石室・壁画は可能な限り近いところで、一体的に保存する。
- 壁画を保存管理する場所は、公園内を基本として検討する。

2. 保存管理施設の設備・条件について

- 壁画の保存・展示・修理・メンテナンスの機能を一体とする。

3. 壁画の展示活用について

- 壁画の保存を最優先とした上で、可能な限り、展示活用を実現する。

4. 保存管理施設の管理運営について

- 壁画の保存管理については、関係機関と連携しつつ、文化庁が主体となって行う。
- 管理運営は、学芸員や修理技術者等の人員配置も含めて、保存・展示・修理・メンテナンスの各々が有機的に機能するよう検討する。
- 管理運営の組織や体制については、重要文化財等の保存管理・公開に関する取扱いに十分なノウハウのある既存の組織や施設と連携する。

■基本計画以降の関連動向の変化、ニーズ等

- ・キトラ古墳壁画の四神、十二支、天文図の取り外し完了
- ・檜隈寺跡周辺、檜前遺跡群での新たな遺跡等の発見（L字型石組みかまど、小金銅仏片、掘立柱建造物、大壁遺構等）
- ・平成22年度 キトラ古墳壁画四神特別公開の入場者数は、30日間で計8万9,272人。過去3回の公開と比べ最多の入場者数を記録

■第1回委員会での主な意見

- ・渡来人の文化と日本文化との融合を示す学習内容の検討
- ・キトラ古墳と檜隈寺跡の特性とその位置づけに留意した学習展開
- ・檜隈寺跡周辺、檜前遺跡群における発掘調査に留意した施設配置の検討
- ・レプリカの設置等展示の工夫
- ・段階的なプログラム展開
- ・エドゥケーターなどの人材育成
- ・地域活性化の視点の盛り込み

■第2回委員会での討議事項

キトラ古墳周辺地区を取り巻く関連動向の変化、文化庁における古墳壁画の保存活用に関する検討、ならびに第1回基本構想検討委員会での討議を踏まえ、第2回基本構想検討委員会では、体験的歴史学習基本構想に盛り込むべき事項を精査し、第3回基本構想検討委員会において「体験的歴史学習基本構想（案）」を議論いただいた上で、とりまとめることとする。

【討議のポイント】

①体験的歴史学習のテーマと必要機能について

過年度から継続的に議論されてきた基本的方向について、文化庁における検討も踏まえた時点修正を加え、再定義する必要がある。

- 基本構想の前提となる体験的歴史学習の定義は適切であるか。
- 体験的歴史学習を展開していくためのテーマ設定は適切であるか。
- 本地区に導入する機能は必要十分であるか。

②体験的歴史学習の内容・展開手法・プログラムについて

文化庁における検討、第1回基本構想検討委員会における討議を踏まえ、体験的歴史学習の内容・展開手法・プログラムについて、一体的なシステムのもと、効果的に学習できるものとする必要がある。

- キトラ古墳周辺地区で展開する学習内容について、キトラ古墳とその保存・修復に関する事項を柱の一つとして位置づけることは適切であるか、また、全体のバランスは適切であるか。
- 体験的歴史学習を展開する手法について、学習内容を適切に展開可能か。

③キトラ古墳周辺地区の導入施設と機能配置について

今後の施設詳細の検討に向けて、地区全体の導入施設と機能配置に関するフレームを検討する必要がある。

- 本地区に導入する機能を十分に発揮できる機能配置であるか。

④施設の設置・運営管理について

今後の維持管理・運営、事業展開の詳細検討に向けて、施設の設置・運営管理に関する方向として、各組織のノウハウを生かせるシステムを検討する必要がある。

- 施設の設置・運営管理について、多様な主体のかかわり方は適切であるか。これにより、導入機能や学習内容を十分に展開可能か。

第3回委員会 基本構想（案）

現状と課題／方針／テーマ／学習内容／展開手法／導入機能・機能配置／導入施設／運営管理・事業展開の方向性／イベントプログラム

基本構想としてのとりまとめ

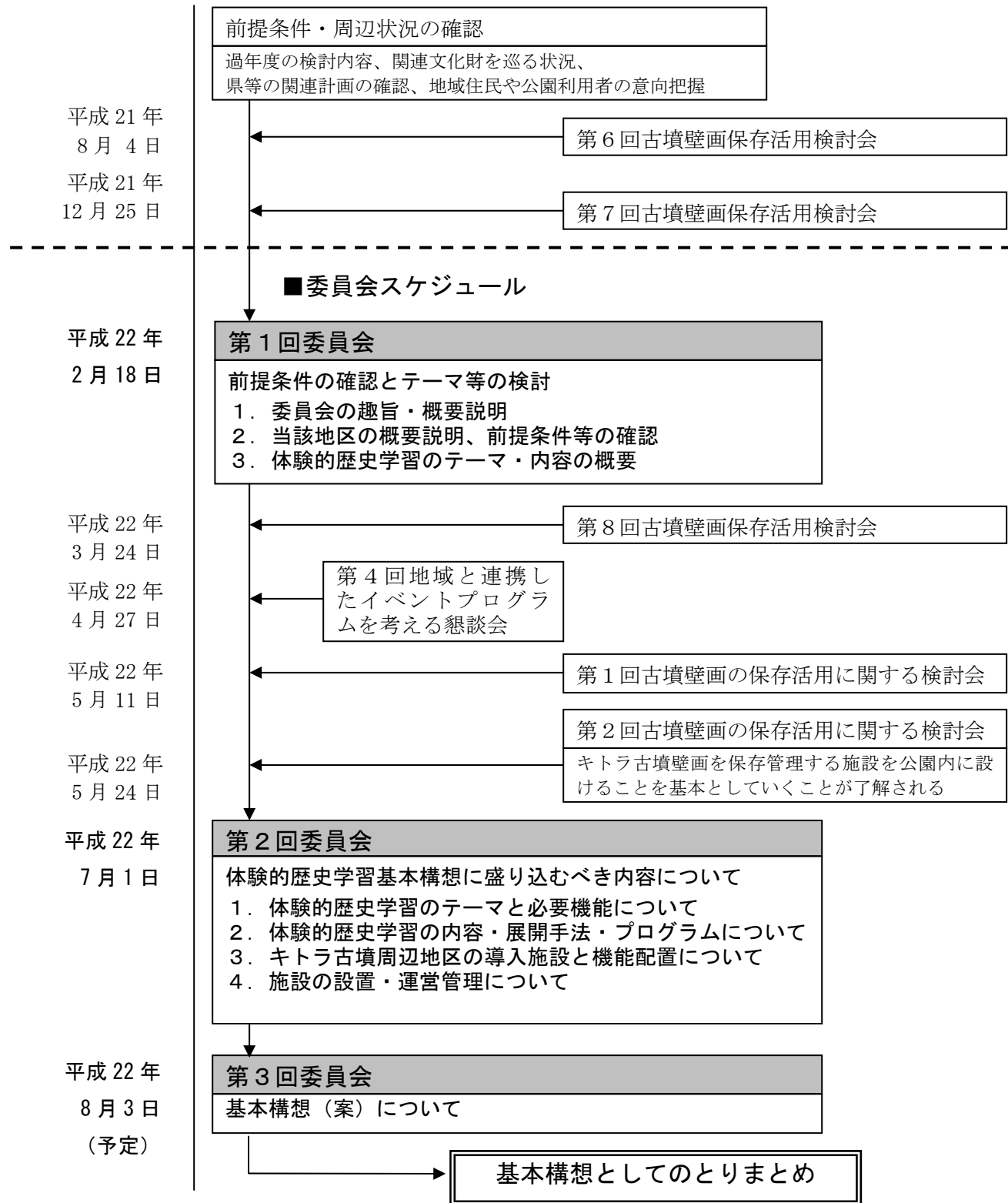
■今後の検討事項

「（仮称）体験的歴史学習基本計画」

施設詳細／管理運営プログラム／連携体制／事業実施プログラム

※適宜、文化財部局、地元公共団体と調整

■委員会スケジュール



〈参考〉 国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区 整備スケジュール

エリア	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
全体スケジュール	用地取得										
	基本設計										
	文化財調査										
	実施設計										
	工事										開園
体験的歴史学習に係る検討	体験的歴史学習内容の検討			基本構想	基本計画						
	体験的歴史学習施設整備			構想に反映		基本設計	実施設計		本体工事	展示工事	
	文化財発掘調査			文化財発掘調査							
各エリアの整備スケジュール	キトラ古墳周辺環境保全エリア			文化財調査	文化財調査				工事		
	歴史体験学習エリア			文化財調査		実施設計			工事		
	歴史的風土保全活用エリア			文化財調査	実施設計				工事		
	檜隈寺跡周辺環境保全エリア			文化財調査	実施設計				工事		

※平成 28 年度の開園を目途として作成

(予算額や、関係者との調整の状況に応じて、各区分は前後する可能性あり)

※なお、本委員会のうちキトラ古墳壁画等に関する検討については、「古墳壁画の保存活用に関する検討会」における検討状況に留意しながら、議論を進めるものとする。